

## プロフィール

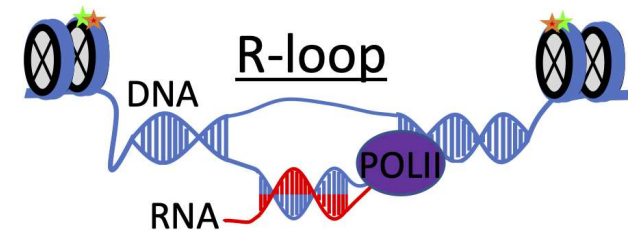


## インタビュー

名前	藤原 靖浩
所属部署	東京大学 定量生命科学研究所 病態発生制御研究分野
職種	助教
この研究室に入った日	2017年4月1日
出身地	岡山市
趣味	釣り、釣竿作り、ギター、 ギター作り、野鳥撮影

Q1 現在の研究内容を教えてください。  
精子形成、特に減数分裂期の発生に興味を持っています。

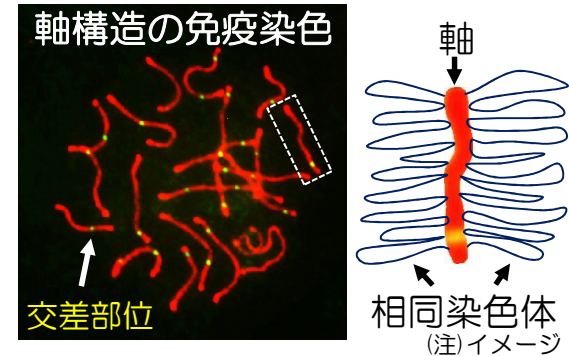
現在の主な研究内容：ダイナミックな転写が行われる減数分裂前期において、R-loop（DNAとRNAから構成され、転写時に形成される3本鎖核酸構造）がどのように転写制御機構に関わっているかについて調べています。



精子形成は厳密な遺伝子の転写調整によって進行しますが、R-loop形成は健全で多様性に富む精子を作り出すために重要だと考えています。R-loopはエピジェネティクスの要素が強く近年徐々に注目を集めていますが、生殖細胞でR-loopをやっている人は、国内外を見ても稀です。オンリーワンの研究を展開できたらと妄想する日々です。

## Q2 研究者を志したきっかけは？

中学生の頃、釣りや熱帯魚に夢中になって漠然と魚の研究者になりたいと思っていました。魚の勉強を目的にアメリカの大学に留学したつもりが、いつの間にか繁殖生物学に興味に移っていました。その後、日本の大学院で現在につながる研究分野に出会い染色体の軸構造（通称ヒモヒモ）に魅せられたのがきっかけです。



## Q3 若手研究者へのメッセージ

研究者は大変な仕事ですが、自分が魅了されるものを見つけられれば一生懸命になる価値はあります。覚悟ができたなら、人生設計を立ててとにかく実行しましょう。恩師の教えですが、あなたに「運・鈍・根」が備わっていれば、必ず道は開けるはずですよ。